

月刊あずかりくん2005年7月号 個人情報保護法について

2005年4月から、個人情報保護法が施行されました。

個人情報保護法とは、個人情報の流出や、悪用等を防ぐ為に、個人情報を取り扱う事業者が、その用途を顧客に明示する義務及び、漏えいを防ぐ為に適切な措置を取る義務を明確にした法律です。

クリーニングという業種は、その業務の関係上、個人情報を取り扱う頻度が非常に高いと言えます。

そこで、今回の月刊あずかりくんでは、クリーニングにおける個人情報保護についてお話したいと思います。

個人情報保護への取組みと売上の関係

最近、信販会社などの個人情報流出のニュースを目にする機会が多くなりました。直接被害を受ける事が無くても、消費者が、自らの個人情報の重要度を認識する機会が増えたと言えます。

よって、これからの消費者は、お店の判断基準として、品質や価格だけでなく、「**個人情報の適切な管理**」を付け加えることは明らかです。

言い換えれば、個人情報保護への努力が、大きく売上に反映する日が来たということではないでしょうか。

では、個人情報保護の為に、クリーニング店が取り組むべきことって一体どんな事があるんでしょう？？

クリーニング店が注意すべき事項(1)

- **情報の開示等を求められた際には、速やかに求めに応じる**

個人データに関して、お客様から求められた場合には、すみやかに情報を開示し、訂正や利用停止に応じなければなりません。さらに、個人データをあらかじめ本人の同意を得ずに、第三者に提供することは原則禁止されます。

- **レジのバックアップデータ等を安易に持ち帰らない**

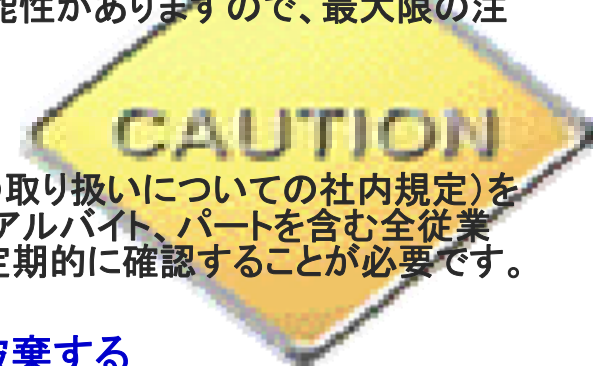
アルバイト、パートを含めた社内の全員が顧客データを閲覧出来ない様に、パスワードなどで情報管理者を特定することはもちろんですが、情報管理者が、顧客分析などに利用する為に、顧客データが保存されたメディアを自宅に持ち帰ることもあるかと思えます。ネットワークに繋がった環境で、例えばウィルスに感染したPCからは、情報が流出する可能性がありますので、最大限の注意を必要とします。

- **アルバイト、パートを含めた全社員への指導**

社内で統一された安全管理規定(顧客データや、過去の伝票の取り扱いについての社内規定)をあらかじめ定めておき、その規定に基づく業務の進め方などを、アルバイト、パートを含む全従業員へ指導し、そして、規定に従った業務を行っているかどうかを定期的に確認することが必要です。

- **伝票控え等、個人情報that明記された媒体を出来る限り破棄する**

意外と盲点になりがちですが、店舗で管理する伝票の控えや、台帳には、お客様の電話番号や、住所が記入されています。古いものや、必要の無くなったものについては、シュレッダーなどにかけて、廃棄することが必要です。



クリーニング店が注意すべき事項(2)

■ 個人情報の利用目的を顧客に明示する

顧客の個人情報をどの様に利用するかを記入した右図の様な文書を、カウンターや、ドア等、お客様の目に付く場所に置いておくことをお勧めします。

会員登録用紙に、同様の文書を記載もしくは添付する事も必要でしょう。

個人情報保護への取り組みに関して

(株)〇〇クリーニングでは、会員情報として、電話番号、住所等を管理させていただいております。その責任を認識し、データ管理に関するセキュリティ体制の構築に取り組んでいます。

1.個人情報収集の目的

弊社ではお客さまの大切な洋服をお預かりし、クリーニングし、返却させて頂くというサービスを行っております。その際、納期のお知らせや、お得なセール情報のお知らせの他、種々の問い合わせをさせて頂く為に、住所や電話番号等の情報を利用して頂いております。それ以外の利用目的以外について決して使用することはありません。

2.個人情報の管理について

不要になった伝票控えの破棄、顧客情報管理者の特定化、レジスター内のデータ暗号化などを徹底し、第三者への情報漏えいを防止しています。

3.第三者への提供に関して

原則として、上記の目的の為に必要な提携事業者を除く、第三者への提供は行いません。

個人情報保護に関するお問い合わせ先
TEL03-3653-xxxx (株)〇〇クリーニング本社

店舗では、これらの取り組みが最低限必要だと思われれます。では、顧客情報を一括で管理しているレジスターでは、どの様な事が出来るでしょうか？

あずかりくんが、個人情報保護のサポートをさせていただきます！！

あずかりくんSYS-7500は、個人情報保護の観点に基づいた様々な機能をご用意し、情報の安全管理をお手伝いします！！

- 店員さんの離席時に画面をロックする機能を標準装備
- 画面操作情報(ログファイル)の記録
- 伝票、台帳、見出しシールに電話番号を印字するかしないかの設定
- 顧客データをCSV出力にて抜き取る際に、パスワードの入力を必要とする為、情報管理者を明確化
- オンライン送信時のデータを暗号化し、第三者への漏えいを防止
- 日常保存データも、もちろんパスワード管理

